

令和4年度(令和3年度事業分)

真室川町教育委員会
事務・事業点検評価報告

令和4年8月

真室川町教育委員会

教育委員会事務事業の点検・評価について

1. はじめに

真室川町教育委員会では、「生きがいを感じ 幸せを感じるまち 真室川」を将来像とし、令和3年度からスタートした第6次真室川町総合計画にもとづき、「みんなで育む学びのまち」を基本目標に掲げ、「子育て支援の充実」「学校教育の充実」、「多様な学びの機会の充実」など、具体的な施策の実現に努めてきました。

また、令和元年度から5年間を計画期間とする「第一次真室川町教育振興計画」に基づき、掲げた目標の実現に向けて取り組んでいます。

このたび、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、令和3年度に行った教育委員会の事務事業について点検評価を行い、客観性の確保と効果的な教育行政の推進を図るため、真室川町教育委員会外部評価委員の皆様からご意見をいただき、その内容をまとめました。

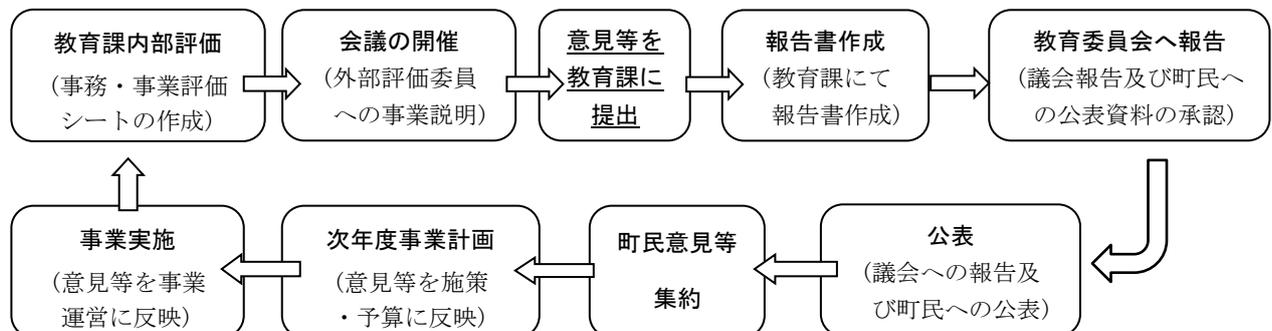
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、各種活動の多くが制限されました。そのような状況の中でも、第一次真室川町教育振興計画の3年次として、感染予防対策を実施しながら、計画の基本目標である「みんなで育む 学びのまち 真室川」を目指し、地域の環境（土地・人・もの・こと）を生かした施策を展開いたしました。

2. 外部評価システムの流れ

評価は各事務・事業について、担当係が評価シートを作成することから始まり、教育課内部による評価を行います。この内部評価について、学識経験者等で構成する「真室川町教育委員会外部評価委員」（以下「外部評価委員」という。）から、教育課内部評価の客観性の検証と改善等に関する意見をいただきます。

教育委員会では、外部評価委員の意見をもとに各事務・事業の最終方針を決定し、議会への報告及び町民への公表を行います。また、公表により町民の皆様からいただく意見・要望等も参考にしながら、今後の事業計画・運営に反映させるとともに、各事務・事業の改善に努め、町民の目線に立った教育行政の運営に努めます。

★評価システムの流れ



3. 評価の方法

(1) 評価の対象とする事業

評価の対象とする事業は、令和元年度よりスタートした第一次真室川町教育振興計画に基づき、施策として掲げた事業とします。

(2) 内部評価におけるシート作成者と記入方法

内部評価による評価シートは、各事業担当係が作成し、主な事業内容と成果・課題、教育委員会の評価と今後の方針を記入します。

「目標に対する進捗状況」欄には、計画策定時（平成30年度）の数値に、参考として山形県の数値を（ ）書きで付記しています。また、計画終了時（令和5年度）の目標値と、点検・評価段階（令和3年度）の状況を記載しています。

外部評価委員より、内部評価に係る事業内容や事業の方向性について点検・検討を行い、外部評価に係る意見を記入します。

4. 外部評価委員及び委員会の開催

No.	氏名	役職等（令和3年4月1日現在）	備考
1	高橋 央子	元小学校教諭	教育関係者
2	佐藤 徳子	真室川町交通安全母の会会長	学識経験者
3	田中 里美	元小学校講師、 まちなか図書館構想検討委員会委員	町民代表

令和4年7月27日(水)に外部評価委員会を開催し、内部評価に係る目標に対する進捗状況や事業効果などについて点検・評価するとともに、外部評価及び評価に係る意見をいただきました。（資料は事前に配付し、効率的な会議運営に努めました。）

今回の事業評価を町民に公表し意見集約することで、教育委員会事務・事業を町民に理解していただき、教育行政への町民参加を推進する機会と位置付け、PDCAサイクルを確立して、より効果的な教育行政の運営が図られるよう努めてまいります。

また、当該評価委員の意見を踏まえ、事務改善を更に進めながら、計画的かつ重点的な事業実施に努めてまいりたいと思います。

※事務事業評価シートは、別添のとおりです。